

令和3年度 事業報告書

本県における女性と社会に関わる諸問題の解決と男女共同参画社会の実現に寄与するため、県民の総合的な活動交流拠点施設である「福岡県男女共同参画センター」（愛称：あすばる）の機能を発揮し、次の事業を実施した。

1 情報・調査事業

(1) 図書等の収集

- 男女共同参画社会づくりのための県民の学習活動や、男女共同参画行政関係機関等の情報収集活動を支援するために、図書、雑誌、DVD等関係資料を収集した。
- 利用者の関心と理解を深めるため、男女共同参画に関するテーマを設けた企画展示により関連情報や収集図書の紹介を行った。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、クローバープラザが臨時休館したことに伴い、ライブラリーを一時休館（令和3年5月12日～6月21日、8月6日～9月13日）。

【年間利用数】	入館者	11,652人〔前年度 13,312人〕	
	貸出利用者数	2,622人〔前年度 3,001人〕	
	貸出数	6,855冊〔前年度 8,303冊〕	
【蔵書数】	一般図書 (38,394冊)	雑誌等 (130誌)	新聞 (4紙)
	DVD等 (930本)	行政資料 (4,261点)	
【企画展示】	実施回数	7回〔前年度6回〕	
	4月～3月	「SDGs～すべての目標に関わるジェンダー平等～」	
	4月～6月	「さあ、はじめましょう」	
	6月～10月	「防災を考えよう」	
	7月～8月	「こどももおとなも楽しい自由研究」	
	9月～3月	「男性の家事と育児を考えよう」	
	11月～2月	「心とカラダに向き合ってみませんか」	
	3月	「特集 国際女性デー」	

(2) 情報誌紙の作成・発行

- あすばる～ん 年4回（累計 34,000部）
- ニューズレター 年4回（累計 28,000部）
- ニューズレター特別号 年2回（累計 14,000部）
- 県内の地銀（福岡、西日本シティ、筑邦、北九州）、全信用金庫の全店舗であすばる～んを配架した。

【あすばる～んの特集テーマ】

発行月	特集テーマ
「夏」号(7月1日発行)	アンコンシャス・バイアスを考える
「秋」号(10月1日発行)	あすばる開館25周年を迎えて 福岡県知事に聞く
「冬」号(1月12日発行)	あすばる男女共同参画フォーラム2021
「春」号(3月31日発行)	男性の育児休業

(3) ホームページ等による情報提供

男女共同参画社会づくりに向けた各種セミナー・事業の告知や実施結果、新刊図書や各種報告書・情報誌等をホームページで提供するとともに、メールマガジンやSNSでの情報発信を行った。また、市町村、地域団体、企業及び教育機関等に対し紹介可能な講演講師やパネリストに関する情報をホームページで提供した。

・年間訪問者数 179,977人〔前年度 147,327人〕

(4) 女性の活躍や男女共同参画推進の先駆者（ロールモデル）や団体の発掘、紹介

県内の各分野で先駆的に活躍し、後に続く女性の目標となりうる人材や取組が参考となる人材等について、情報誌紙及びホームページ等を通して紹介を行った。

2 相談支援事業

(1) 総合相談（電話相談・面接相談）

心と体、家庭、暮らし、就業等広範多岐にわたる相談に、電話及び面接により対応し、相談者自身が問題解決に向けて自己選択、自己決定していくよう支援した。電話相談については、性別を問わず、幅広く男女共同参画の考え方をベースとした支援を行った。また、他の行政機関等関係機関とも連携を図りながら相談ニーズに応えた。

相談時間（電話相談） 毎日 9:00～17:00（8/13～15、年末年始を除く）
毎週金曜日【祝日を除く】は 18:00～20:30 も対応

・総合相談件数 6,701件〔前年度 4,862件〕
うち 電話相談 6,683件〔前年度 4,852件〕
面接相談 18件〔前年度 10件〕

(2) メール相談

多くの方がより相談しやすいように、パソコン、スマートフォンからのメール相談を受け付け、必要な支援機関の情報提供や、相談者の状況によっては電話相談や専門相談への誘導を行った。

相談受付 24時間 365日

・メール相談件数 138件〔前年度 173件〕

(3) 専門相談

専門的な助言が必要な相談については各分野の専門家からアドバイスを行い、相談者を支援した。

・専門相談件数 280件〔前年度 273件〕
①仕事と生き方のステップアップ相談 21件〔前年度 32件〕
②女性のためのこころと生き方相談 61件〔前年度 64件〕
③女性のための法律相談 78件〔前年度 66件〕
④子育て女性就職相談 2件〔前年度 3件〕
⑤男性のための電話相談 118件〔前年度 108件〕

(4) 相談ネットワークの強化

県女性相談所相談課と連携して、県内の各地域で女性関係の相談業務に関わる行政機関をはじめ、センター等の相談員を対象とした研修会を開催するなど、相談ネットワークの強化を図った。

3 人材育成事業

(1) 行政職員のための男女共同参画セミナー

県内市町村等の職員を対象に、男女共同参画社会づくりに先導的に取り組む人材の養成を図るためのセミナーをオンラインで実施した。また、県内市町村から要請があった場合には、市町村職員向けの研修に講師派遣等を行った。

【実施状況】

講座名	実施時期	回数	参加延人数
行政職員のための男女共同参画セミナー	令和3年5月～7月	4	424人〔前年度 中止〕

(2) 女性の活躍推進に向けた企業内研修の支援

県内の企業、団体等を対象に、女性の登用推進や働きやすい環境整備を進めるために実施する社内研修会等に講師を派遣した。

【実施状況】

事業名	実施回数	参加延人数
女性活躍推進に向けた企業内研修支援事業	8回〔前年度 4回〕	153人〔前年度 171人〕

また、企業における女性活躍の重要性について意識を高めるとともに、当事業をPRするため、経営者及び管理職を対象としたセミナーをオンラインで実施した。

【実施状況】

講座名	実施年月日	回数	参加人数
管理職のためのマネジメントセミナー	令和3年6月9日	1	140人〔前年度 中止〕

(3) 大学における男女共同参画の取組支援

大学における男女共同参画推進の取組を支援するため、インターンシップ学生の受入を行うとともに、あすばる男女共同参画フォーラム等への学生の参画を促進した。

(4) 地域人材の活用促進

市町村の施策や意思決定の場に、これまで育成してきた女性人材の参画が進むよう、行政職員を対象に、地域団体等との協働や、男女共同参画の視点での事業企画の手法を学ぶ実践研修をオンラインで実施した。

【実施状況】

講座名	実施時期	回数	参加延人数
地域協働の推進実践研修	令和3年8月	3	41人〔前年度 中止〕

地域で活動する団体等の概要や活動内容を検索できるサイト「地域のすばる」において、先進的な活動事例を紹介した。

- ・令和3年度末掲載数 39団体〔前年度末 30団体〕

(5) 男女共同参画の視点を持った災害対応人材育成事業

災害時はもとより平常時においても多様な視点で地域防災・復興に対応できる人材を育成するとともに、地域コミュニティの男女共同参画を推進するため、自治会役員や地域コミュニティのリーダー等を対象とした講座をオンラインで実施した。

【実施状況】

講座名	実施時期	回数	参加延人数
地域リーダーのための災害対応力向上講座	令和3年6月	2	190人

4 社会参画環境整備事業

(1) あすばる男女共同参画フォーラム 2021

あすばる 25 周年記念事業を兼ね、男女共同参画社会の実現に向けて、更なる県民活動の促進・交流及び意識啓発を図るため、関係機関と連携し、「あすばる男女共同参画フォーラム 2021」を開催した。令和 2 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。11 月 26 日に前日祭として、あすばる開館 25 周年記念オンライン大交流会を実施するとともに、12 月 4 日までの 1 週間をフォーラム・ウィークとして、基調講演や県民企画事業等の配信を行った。

【実施状況】

- ①開催日 令和 3 年 11 月 27 日(土)
※前日祭 26 日(金)、フォーラム・ウィーク 28 日(日)～12 月 4 日(土)
- ②実施方法 オンライン開催(あすばる HP に特設ページ開設)
※クローバープラザ他、計 24 か所に視聴会場を設置
- ③参加者 延べ 4,651 人〔前年度 4,548 人〕
※うち、視聴会場来場者 24 か所 171 人〔前年度 19 か所 167 人〕
- ④テーマ 「もっと前に もっと強く もっと高く」
- ⑤内 容 ・第 20 回福岡県男女共同参画表彰の紹介
・基調講演:「すべての人が輝く令和の社会へ～もっと前に もっと強く もっと優しく～」
講師 林 伴子さん(内閣府男女共同参画局長)
・県民企画事業:20 団体が講演会、ワークショップ等を実施
・前日祭:あすばる開館 25 周年記念オンライン大交流会
・オンライン産直市、まごころ製品ネット販売
・NHK 福岡がジェンダー平等に関する番組を制作(特別協力)
- ⑥主 催 福岡県、福岡県男女共同参画センター「あすばる」
福岡県男女共同参画推進連絡会議(ふくおか みらいねっと)

(2) 女性による元気な地域づくり応援事業

地域の男女共同参画団体と市町村との協働により、それぞれの地域が抱える課題を解決するため、県内 3 市町(大牟田市、宗像市、広川町)において、地域活動の実践力を高める連続講座「女性による元気な地域づくり応援講座」を企画・実施した。

【実施状況】

- ①実施団体数 3 団体〔前年度 中止〕
- ②参加人数(塾生) 72 人
 - ・“おおむたミライ会議”実行委員会(大牟田市) 塾生 31 名
 - ・むなかた元気塾実行委員会(宗像市) 塾生 27 名
 - ・がばいいえん実行委員会(広川町) 塾生 14 名

(3) 福岡県内男女共同参画センター連携会議の運営・調整

県内男女共同参画センター間の情報交換会や研修会の実施など、「あすばる」を中心とするネットワークを構築し、また、11 月に共同事業「DV 防止キャンペーン」を行った。

(4) 福岡県男女共同参画推進連絡会議（ふくおか みらいねっと）の支援

平成14年度に設立された「福岡県男女共同参画推進連絡会議（ふくおか みらいねっと）」の活動を支援した。

【実施状況】

・みらいねっとフォーラム 2022

- ①開催日 令和4年3月5日（土）
- ②実施方法 オンライン開催（クローバープラザ内に視聴会場を設置）
- ③内 容 基調講演：「命をつなぐ からだの自己決定権」
講師 佐藤 摩利子さん（国連人口基金駐日事務所長）
特別ゲスト：マリ・クリスティーヌさん（東京女子大学特任教授）
高橋 幸子さん（埼玉医科大学産婦人科医）
- ④参加人数 131人〔前年度 115人〕

(5) 男女共同参画の視点からの人権問題に関する県民講座の共催

(公財)福岡県人権啓発情報センターが行う県民を対象とした人権問題に関する基礎講座において、男女共同参画の視点から人権問題を啓発する講座を共催した。

事業報告附属明細書

令和3年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。